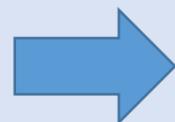


課題項目	第 1 回検討部会での御意見も踏まえた論点整理	想定される主な対応項目			
		I 商業・業務機能の集積拠点	II 住宅地・生活拠点	III ものづくり拠点	IV 緑豊かな地域
① 持続可能な都市に向けた基本的理念と都市格の向上	・ 京都特有の歴史的資産・文化の継承, 景観の保全・創造	都市の魅力・都市格の向上と持続性の確保			
	・ 定住人口の確保 (市内周辺部における人口減少, 若年・子育て世代の市外流出への対応)				
② 都市機能と交通ネットワークの維持・活用	・ 市民生活と調和した国際観光都市・京都の発展	地域をつなぐネットワークの維持・充実			
	・ 公共交通や道路等の交通ネットワークの活用				
③ 安心安全で暮らしやすい生活圏の形成	・ 商業・業務機能等の集積	まちの賑わい・活力の創出			
	・ 周辺部の住宅地が持つ良好な住環境の活用	日常生活の利便性確保			
	・ 空き家の活用・流通促進				
	・ 安心安全な暮らしを確保するための居住地のあり方				
④ 産業の振興と働く場の確保	・ 日常生活を支える医療・福祉・商業等の施設の存続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域コミュニティの維持・活性化</li> <li>・ 未活用ポテンシャルの有効活用</li> </ul>			
	・ 市内企業の活性化と働く場の確保	商業・業務の活性化, 働く場の確保			
	・ 企業の事業拡大や企業誘致を進めるための産業用地の確保, 産官学連携による新産業創出	ものづくり都市としての活性化, 働く場の確保			
⑤ 自然環境の保全と個性ある地域の存続	・ 住工混在地域における土地利用の誘導	周辺地域の持続・活性化			
	・ 自然環境の保全, 農林業・観光の振興				
	・ 市街化調整区域等における地域の存続と都市部との交流促進				



全ての項目に共通する最も基礎的な要素が「人口」

京都ならではの持続可能な都市の構築の検討に当たっては、「人口減少社会への対応」と同時に「歯止めをかける」ことが重要